

令和4年度 学校経営計画

学校名 備前市立香登小学校
校長名 吉本 隆志

○本校のミッション（使命、存在意義）

地域に開かれた学校としての期待に応え、未来社会を切り拓くための『知・徳・体』バランスのとれた生きる力を育てる。

○学校内外の環境分析 <SWOT 分析>

<p><内部環境「強み」S></p> <ul style="list-style-type: none"> ○明朗・純朴で教師の働きかけに素直に応えようとする児童が多い。 ○小規模校で縦割り班活動があり、学年を超えて仲がよい。 ○熱心な教職員が多く協働の気風が見られる。 ○フューチャールーム、一人1台タブレット、デジタル教科書などICT機器が整備・活用されている。 ○加配教員（特別支援教育・専科）や教育支援員（兼ル教師業務支援）が配置されている。 ○学校司書・ALTが常勤している。 	<p><外部環境「機会」O></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然や史跡、地域産業等の環境に恵まれている。 ○地域住民の学校に対する関心・期待は高く協力的である。 ○登下校時は、安全ボランティアの見守りや付添い、青色パトカーによるパトロールがある。あわせて「こども110番」「香登陽まわり会」などの支援を得て、地域でこどもたちの安全を守ろうとする意識が高い。 ○地域コーディネーターを中心に学校支援ボランティアの活動が大変活発である。 ○中学校区1中5小の一貫教育推進協議会がある。 ○学童保育が同一敷地内にあり、学校との連絡も密である。
<p><内部環境「弱み」W></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小規模校のためクラス替えがなく、人間関係が固定しやすい傾向がある。 ○運動場やプールが道路を隔てた場所にあり、安全面・管理面で不安要素となっている。 	<p><外部環境「脅威」T></p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路が狭く、歩道と車道の区別がない。朝・夕の交通量は多い。用水やため池も多く存在する。 ○ゲーム機やスマホ等の利用が広がり、トラブルやメディア利用時間が増加する傾向にある。 ○コロナ禍で学校行事や学習活動にも制限がかかり、感染状況によって中止・縮小したものがある。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

『 学校教育目標 』

強いからだ 広いこころ かおる歴史

新しい時代を拓く 学び続ける子どもの育成

【備前中学校区のめざす児童像】 自ら学び考える 心豊かで活力ある子どもたち

【香登小学校のめざす児童像】

- ・自分の体を知りよい習慣を続ける子（健康・体力） … 強いからだ
- ・柔軟な心をもち温かい人間関係をつくる子（豊かな人間性） … 広いこころ
- ・確かな基礎力を土台にして学びを広げ生かす探究する子（資質・能力の育成） … かおる歴史

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 自分の体を知りよい習慣を続ける子 **セルフマネジメント力の向上**

よい生活習慣を身につけ、体をきたえ、目標をもって前向きにがんばる力を伸ばすことで健康と体力を育てる。

【重点的取組】 コロナ禍での心身の不調（生活習慣の乱れや運動不足）を解消し、粘り強く取り組む児童を育てる。
→ アクションプラン【体】に関する項目

- (1) 『メディアコントロール力の向上』を図り、メディアと上手につきあうことのできる児童を育てる。
(備前中学校区小中一貫・学校保健委員会等PTA 連携・児童会の取組、情報モラル教育の推進)
- (2) 凡事徹底を浸透させて、規律ある生活習慣の確立を図る。
(挨拶・姿勢・言葉遣い・時間厳守・靴やスリッパ揃えの取組)
- (3) 体育や運動会等では、目標設定して粘り強く取り組む児童を育てる。
- (4) おかやまキャリア・パスポートの積極的活用を図る。

2 柔軟な心をもち温かい人間関係をつくる子 **コミュニケーション力の向上**

一人一人が大切にされ、それぞれの存在や良さが認められる集団づくりを通して、自分と仲間を大切にすることによる自己肯定感と他者理解の力を高めることで豊かな人間性を育てる。

- (1) 自分とのちがいを受け止め、折り合いをつけながら仲良く活動する児童を育てる。
(人権教育の推進、特別の教科道徳における内容項目の重点化、特別活動の推進)
- (2) 児童理解を深め、児童相互や児童と教師との好ましい人間関係を構築する。
- (3) 行事や体験活動のねらいを明確にし、めあてをもって取り組むことで達成感や満足感、自己有用感を高め、自尊感情を育て、他者理解の機会をもつことができるようにする。
(縦割り班活動・学校支援ボランティア・学級活動や児童会活動の活性化)

3 確かな基礎力を土台にして学びを広げ生かす探究する子 **問題解決力の向上**

質の高い学びを実現することで、資質・能力の三つの柱（知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養）をバランスよく育てる。

【重点的取組】 根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童を育てる。
→ アクションプラン【知】に関する項目

- (1) 校内研究を全教員で取り組み、その成果を日々の授業改善に生かす。
研究テーマ『根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童の育成』
- (2) 学力向上プランを確実に実行する。
- (3) 個に応じたきめ細かな指導により、児童一人一人が学ぶ喜び・分かる喜びを感じられるようにする。
(岡山型学習指導のスタンダード増補版「授業改善『一歩前へ!』」を基に授業改善を図る。)
- (4) 学びの場にふさわしい学習規律の維持と教師の明確な指導に務める。
- (5) 授業のカリキュラム・マネジメントを推進する。

4 保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。

- (1) 学校での教育活動を保護者・地域に積極的に公開する。（社会に開かれた教育課程）
- (2) 小中一貫教育の推進と情報発信を積極的に行う。（備前中学校区小中一貫教育推進協議会）
- (3) 地域学習や地域の方との協働活動の促進を図る。（学校支援ボランティア）
- (4) 不祥事のおきない職場の環境づくりに取り組む。（協働・コンプライアンス研修・OJT・働き方改革）